

文部科学省科学研究費補助金，新学術領域研究
「先端技術を駆使した HLA 多型・進化・疾病に関する統合的研究」
(領域略称名：HLA 進化と疾病)

平成 22 年度，第一回研究代表者会議

平成 22 年 8 月 6 日 (金)，9 時－12 時，於：学術総合センター203 会議室

1. 領域代表挨拶 笹月 健彦
2. 文部科学省研究振興局学術研究助成課長挨拶 渡邊 淳平 課長

3. 研究の進め方

- (1) 領域の構成，目標，戦略について 笹月 健彦
- (2) 各計画研究の目標，戦略，5 年間のロードマップ，期待される成果

A01 HLA ゲノムの多様性

猪子 英俊 (東海大学医学部・教授)

「リシーケンシングによる HLA ゲノム多様性解析」(研究分担者)

椎名 隆 (東海大学医学部・講師)

「リシーケンシングによる HLA ゲノム多様性解析」(研究代表者)

今西 規 (産業技術総合研究所バイオメディシナル情報研究センター・研究チーム長)

「リシーケンシングによる HLA ゲノム多様性解析」(研究分担者)

山本 健 (九州大学生体防御医学研究所・准教授)

「HLA 領域非コード RNA 群の多様性と機能解析」

A02 HLA 分子とペプチド

横山 茂之 (理化学研究所生命システム基盤研究領域・領域長)

「HLA クラス I/II の高次構造解析」

西村 泰治 (熊本大学大学院生命科学研究部・教授)

「HLA クラス I/II 分子結合ペプチド・結合モチーフの解析と免疫療法への応用」

宮寺 浩子 (東京大学大学院医学系研究科・助教)

「HLA ヘテロダイマー分子の多様性」

A03 HLA の進化

颯田 葉子 (総合研究大学院大学先導科学研究科・教授)

「HLA と病原菌・ウイルスとの共進化」

A04 HLA と疾病

徳永 勝士（東京大学大学院医学系研究科・教授）

「HLA 遺伝子群の多様性と疾病解析」

笹月 健彦（九州大学高等研究院・特別主幹教授）

「HLA-DP5-DR53 関連疾病のゲノム・免疫学的解析」

水木 信久（横浜市立大学医学研究科・教授）

「ベーチェット病などの HLA 関連遺伝性眼疾患における疾患特異的な多型の網羅的探索」

森島 泰雄（愛知県がんセンター研究所遺伝子医療研究部・研究員）

「GvH 反応と GvL 反応の差を決定する HLA 遺伝子および非 HLA 遺伝子の解明」

平山 令明（東海大学医学部・教授）

「HLA 分子を標的とした in silico 医薬分子探索」

(3) 総合討論

4. 事務連絡

(1) 班員名簿確認

(2) 国際シンポジウムについて（平成 24 年 11 月開催予定）

(3) 次回班会議・研究成果発表会について（平成 23 年 1 月，2 月開催予定）

5. その他

資料 1：領域計画書（平成 21 年 11 月提出）（26 ページ）

資料 2：審査結果について（文部科学省）（2 ページ）

資料 3：新学術領域研究（研究領域提案型）の運営等について（文部科学省）（6 ページ）

資料 4：文科省研究者使用ルール（補助条件）（平成 22 年度）（文部科学省）（7 ページ）

資料 5：班員名簿（5 ページ）

資料 6：セミナー申請書（4 ページ）